社会資	資本総	合整例	計画	事	事後評例	価書													平成28年	<u>-5月</u> 31
計画の	11.75	9 結び						E住自立圏の形成												
計画の			平成22年	度 ~	平成26年	F度 (5 ⁴	丰間)			交付対象	1	今治市(定住自立	7.圈)							
計画の				N		>>>)			> 1 - Hear	and the laboratory of the same	In the second	Salariiri	. (le. (.) .)					
								ネットワークの整仮 ニュー								こかける。				
	また、広域観光圏としての観光交流や地場産品のブランド化等、圏域内外のヒト・モノの交流等を促進できる道路等交通インフラの充実を図り、人口流入を創出する。 計画の成果目標(定量的指標)																			
ртра	・今治市の人口減少率4.5ポイント以下を目指す。																			
	今治市	ラ道のネ タ	ットワーク	ア形成率の かんしゅん かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしょう かんしゅう かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	ひ1. 5ポ	イント増		, う。 の3ポイント増加る	を図る											
定量	的指標の			_ HO 1 / (-401).9 H	50.70.47 98.41	10% 01 11	V) 0 Att V 1 PB/M	C [2] - 20 o				定量的	的指標の現	湿値及7	ド日煙値				
~=	H J 1 D I V V V	/L-12//	7 FAL P		J								当初現況値		目標値	最終目	目標値		備考	
(H22当初) (H24末) (H26末)																				
人口減少率の抑制 (国立社会保障・人口問題研究所予測によると、今治市の人口はH22:166,307人からH27:158,123人と4.9ポイントの減少予測) 171,947人 164,209人以上																				
	(国立位							ロはH22: 166, 307人 計帳人口)/(H22.					171,947人			(4.5)				
	△汕去洋		トワーク形			71.0.01 止,	~~~	1 PK/CH// (1122.	0.01 LL L		= 1.000.10	1				(1.0	700/17			
			ドジージル 形成率増加		百川								81.25%			82	79%			
	(11)				あ古道の3	收白这延 目	. — нээ ч	4初の1級及び2級市	道の改自落	· 延毛) / (1級	9級市道の	公延長)	01.20,0			(1.5				
	△次圏4					の増加割合		17/10/21/1X/X (C-2/1/X1)	担り以区内	延及)/(1版	2/10人11 1日 4 2 1	心是以)				(1.0	/02日/			
		く フィロース 数増減割		0 m 1) V V II	死 /L 台 郊、▽	//*E/JH [1] [1						4,043千人			4, 164	1千人			
	(B)L/L-1			2均細平の	女数 (たま	ど1. 旧基	淮レの	比較係数をかけた数	か値)) / I	H16~H20平均	組 半 友 数)	- 1 ≥ 3 %	1,010170			(3%				
		(112			3 300 (70.7)	CO, III	·+ C 17.	24X JN 3X 2 17 17 12 3		110 1120 115	B)L)L-11 300	1 = 0 /0	効果促進導	宝芸豊の宝		(0)	о-д/			
全	と 体事業費			計 3 + C)	2, 240	百万円	A	2,171 百万円	В	0 百万円	С	69 百万円		+ A H C)				3.1%		
			(21 + 1	3 1 0 /									0/ (11	TBTC)	,					
										事 後 評	価									
	価の実施		E施時期		,															
事後評価	の実施体	制									事後評価の	の実施時期		<u> </u>						
マ成28年5月 今治市社会資本総合整備計画等評価委員会による評価 公表の方法																				
今宿	巾任会員	(本総合語	企 佣計囲寺	詳価安見	具会による	の評価					公衣の方は	Z.		▲ 公公市//	(ナナー)	ムページに	アル主			
														7 10 10 2	77(1), 2	4. 1	- (ΔΔ			
交付対象	事業																			
A1 道路					1						1		1	1						
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	道路	省略		となる事業	名		F業内容	市町村名			施期間(全体事業費 (百万円)	備考
	種別	種別	対象	間接		種別	工種		事業箇所)			長・面積等)	A >4 1.	H22	H23	H24	H25	H26		
1-A1-1	道路	一般	今治市	直接		市町村道	改築		J谷~新谷			L=1.68km	今治市						391	
1-A1-2	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	改築	岡木ノ元線 朝倉			>	L=0. 23km	今治市						13	
1-A1-3	道路	一般	今治市	直接		市町村道	改築	高田西山線 高田中町線 紺原	1			L=2. 21km	今治市						366	
1-A1-4	道路道路	一般	今治市	直接直接	_	市町村道市町村道	改築	大野鹿ノ子線				L=0. 47km L=0. 35km	今治市 今治市						38	
1-A1-5 1-A1-6	道路	一般	今治市 今治市	直接		市町村道	交安	大野鹿/丁藤 坂本線				L=0. 60km	今治市						184 138	-
1-A1-6 1-A1-7	道路	一般	今治市	直接		市町村道	交安		1カ町木浦コ	- IZ	自歩道整個		今治市						61	
1-A1-8	道路	一般	今治市	直接		市町村道	改築		5万円 水価ユ 5橋工区	-12	自歩道整		今治市						330	
1-A1-9	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	交安	今治駅天保山線	山岡一下区		自歩道整		今治市						107	
1-A1-10	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	交安	あんしん歩行エリ	ア整備 別	宮町地区	交差点改良		今治市			ı			27	
1-A1-11	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	改築	鴨部線 玉川町	/ IE/m //	10.1262	自歩道整個		今治市						151	
1-A1-12	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	交安		北宝来町			一整備 L=0.32km	今治市						10	
1-A1-13	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	交安		旭町~南宝	[来町		一整備 L=0.15km	今治市						0	
1-A1-14	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	修繕		伯方町			対策 L=0.05km	今治市						24	
1-A1-15	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	修繕		伯方町		橋梁耐震		今治市						20	
1-A1-16	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	修繕	大坪通町谷線 外			橋梁修繕		今治市						0	
1-A1-17	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	交安	交通安全施設整備事	事業(桜ケ丘	本線他39地区)	カ゛ート゛レール、	標識、区画線等	今治市						2	
1-A1-18	街路	一般	今治市	直接	_	S街路	改築	学校線			現道拡幅	L=0.39km	今治市						309	
1-A1-19	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	改築	大浜糸山線 砂場	計		現道拡幅	L=1.20km	今治市						0	
		•		•	•			•			•		•		小計	- (道路事	業)		2, 171	

B 関連	4 社会資本	整備事業														
釆早	事業	地域	交付	直接	事業者	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度) 全体事業					全体事業費	備考
田力	種別	種別	対象	間接	尹未石	工種	女米しなる手木石	(延長・面積等)	港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
															[
												合計				

番号	番号 一体的に実施することにより期待される効果										備考					
C 効見	具促進事業															
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実	全体事業費	備考			
田ク	種別	種別	対象	間接	尹未日	工種	女衆となる事未有	ず未11日	港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
1-C1-1	計画・調査	一般	今治市	直接	_	計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画策定	修繕計画策定委託	今治市(全地域)						23	
1-C1-2	施設整備	一般	今治市	直接	_	案内看板	案内板整備事業	観光案内板等の統一整備	今治市 (全地域)						46	
1-C1-3	企画調査	一般	今治市	直接	_	調査委託	新観光ルート形成調査事業	新規観光ルート開発等	今治市 (全地域)						0	
1-C1-4	公共交通	一般	今治市	間接	バス事業者等	施設整備補助	バス事業者等施設整備補助	バス停等、施設整備等支援	今治市 (全地域)						0	
								•				合計			69	
番号	一体的に	実施する	5ことによ	り期待さ	される効果	1										備考
1-C1-1																
1-C1-2																
1-C1-3	市道整備	i (1-A1-1	~19)と合:	わせて「淋	順戸内しま	なみ海道地域観光	圏」における新しい観光ルート形成のための調査	・研究を実施し、修学旅行誘	致等の新たな観光商	新品開発を	図る。					
1-C1-4	ニュータワ	ウンとして	開発中の新	f都市地[区へのアク	セス道 (1-A-8他)	の整備と合せ、バス路線の新設に要する経費(バ	ス停等)を交通事業者等へ支	援し、利便性の高い	新たな交	通システィ	ムを構築す	ナる。			

その他関	連する事	業															
番号			交付	直接	事業者	道路	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実	全体事業費	備考			
田力	種別	種別	対象	間接	尹未日	種別	工種	女米になる事末石	ず未F1谷	港湾・地区名	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
	道路	一般	今治市	直接	_	市町村道	改築	大野鹿ノ子線	現道拡幅 L=0.35km	今治市						39	
	道路	一般	今治市	直接		市町村道	改築	今治駅高橋線 高橋工区	自歩道整備 L=0.50km	今治市	-	-	-			100	
	道路	一般	今治市	直接	ı	市町村道	交安	今治駅天保山線	自歩道整備 L=0.90km	今治市						0	
Δ,	道路	一般	今治市	直接	ı	市町村道	交安	今治駅北浜町線	バリアフリー整備 L=0.32km	今治市						110	
11	道路	一般	今治市	直接	ı	市町村道	交安	恵美須鯉池町線	バリアフリー整備 L=0.15km	今治市						33	
	道路	一般	今治市	直接	ı	市町村道	修繕	大坪通町谷線 外	橋梁修繕	今治市						156	
	街路	一般	今治市	直接	ı	S街路	改築	学校線	現道拡幅 L=0.39km	今治市						124	
	道路	一般	今治市	直接	ı	市町村道	改築	大浜糸山線	現道拡幅 L=1.20km	今治市						50	
C'	計画・調査	一般	今治市	直接		計画・	調査	橋梁長寿命化修繕計画策定	修繕計画策定委託	今治市 (全地域)						32	
								·		•			合計			644	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・人口減少率の抑制については目標値を達成できなかった。
- ・今治市道のネットワーク形成率は、1.3ポイントの増加が図られた。
- ・今治圏域(今治市及び上島町)における観光客数増減割合は15%となっている。

Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①(人口減	最終目標値	164, 209人以上 (4. 5%以下)	目標値と実績値	道路ネットワーク機能の充実により住民の利便性が向上し、人口流入の増加・人口流出の抑制につながっ					
	少率の抑制)	最終実績値	163, 167人 (5. 1%)	に差が出た要因	たと考えられるが、目標値には届かなかった。					
	指標② (ネット ワーク形成率の	最終目標値	82. 79%	目標値と実績値	防災安全交付金対象の整備計画へ移行した事業があったことにより目標値を0.24%下回ったが、防災安 交付金への移管がなければ目標達成となるため、実質的には本事業においての目標数値達成はできたもの					
	増加)	最終実績値	82. 55%	に差が出た要因	入り並、シグをかなければ自伝達成となるため、天真的にはやず来におい、シロ伝数値達成はCoたものと判断できる。					
	指標③ (圏域の 観光客数の増	最終目標値	4, 164千人以上 (3%増)	目標値と実績値	観光客の増加は近年のサイクリングブームの影響によるところが大きいものの、本事業において道路ネトワーク機能の充実、道路拡幅やバリアフリー整備による観光サイクリストの走行安全性向上、また道の					
	加)	最終実績値	4,658千人 (15%増)	に差が出た要因	駅や高速道路出口等への案内看板設置等実施したことにより、今治圏域における観光客数の増加に寄与したと考えられる。					
		look S.								

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述) 新たなネットワーク形成により、既存道路の迂回路として市民が通行できるようになったことで渋滞の緩和につながり、また災害時等の迅速な移動が求められる場合に (必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

・今後道路事業の計画策定時には、個別路線の交通量調査などの別途経費がかかる方法ではなく、交通センサス等既存の統計資料の数字を利用するなどして市民の利便性向上がわかるような成果指標の設定ができないか、 検討してまいりたい。